



植物と人々の博物館

Plants and People Museum

Vol.41

西村俊 自然文化誌研究会理事

春の訪れを待ちながら、段々と畑の準備も始まっています。冬季はお休みをしていた資料整理は、3月後半から（隔月で月曜日）再開予定です。さく葉標本を選別し、民具、書籍の整理を行っています。公共の知的財産として活用していただけるように、ご協力いただくと嬉しいです。資料など閲覧したい方はご連絡ください。

11/8に新潟国際情報大学（異文化塾）で「インドの穀類と豆類が織りなすカラフルな世界」の講義（木俣美樹男専従研究員）、11/15に令和7年度 こがねい環境フォーラム「環境座談会」へ参加・協力（東京学芸大学サークルちえのわと協力）、2/22に檜原村のさとやま学校・東京で「関東山地山村の伝統食から学ぶ」の講義（木俣美樹男専従研究員）を行いました。関連資料は、生き物の文明への黙示録HP（<https://www.milletimplic.net/index.html>）で公開されています。

民族植物学ノート第19号を4月に発行予定です。これまでの発行分も含めて植物と人々の博物館HP（<http://www.ppmusee.org/>）にオンライン公開しています。ELF環境学習課程（2009）のプログラム集もデータ公開しました。

今後、zoomでの学習会・読書会も計画されています。適宜、いずれかのHP上に案内を掲載します。ぜひご覧ください。



植物と人々の博物館では、先達たちから引き継いだ社会的共通文化財である植物標本、民具、文献資料や書籍を整理し「森とむらの図書室」を充実し、連携しているタイ・日本自然クラブの展示も行っています。できることならば、将来、公共の場所を確保して、これらの資料を広く公共財として公開・活用頂きたいと願っています。